

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和5年6月27日
タイトル	「浅瀬石川水の旅」
水土里レポーター名	水土里ネット板柳東部 事務局長 田中昌吾

令和5年6月19日(月)に青森県土地改良事業団体連合会、西北地域県民局などの関係機関のご協力のもと板柳町立東小学校4年生7名、5年生9名が「浅瀬石川水の旅」を行いました。毎日のように目にしている田んぼや畑では、春の田植えから秋の稲刈りまで、たくさんの「水」を使い、お米や野菜を育てている。遠い昔から多くの人達の知恵や工夫によって長い間大切な「水」を上手に利用し、田んぼや畑が守られている。そんな大切な「水」はいったいどこから来るのか?この疑問を解決するために私たちの住む地域に流れてくる「水」についてダムや頭首工などの施設を見学して勉強する旅です。

午前浅瀬石川ダムや浅瀬石川第1頭首工に行きました。今年は新型コロナウイルスの感染の規制・制限の緩和により、ダムの堤体内を実際に歩いて見学し、資料館内で3D立体映像を見てダムの役割や構造などを勉強してもらいました。そして、青森県土地改良事業団体連合会の方から「水循環システム」を学びました。頭首工では役割や構造、「魚道」という魚の通る道などを勉強してもらいました。午後は樋の口浄水場や五幾形揚水機場に行きました。実際に川の水を石や砂利などで作った簡易ろ過装置でろ過する実験をし、日常の生活で使っている水を作る過程やしくみを学びました。揚水機場ではウォッチマンゲートやポンプ設備、除塵機の役割や構造などを勉強してもらいました。

この旅で子どもたちは、講師の方から教えてもらったことをメモし、わからないことや疑問に思ったことを積極的に質問し、真剣に活動していました。そして「楽しかった」や「おもしろかった」など言っていました。校長先生は「水の大切さや、水は循環しているなどたくさんのおもしろいことを知る貴重な体験になりました」と言っており、とても好評価でした。



浅瀬石川ダムを見学



「水循環システム」について勉強



浅瀬石川第1頭首工を見学



樋の口浄水場を見学



五幾形揚水機場を見学